

平成 27 年 3 月 30 日  
気 象 庁  
内 閣 府 政 策 統 括 官  
( 共 生 社 会 政 策 担 当 )  
観 光 庁

## 緊急地震速報の多言語化について ～ 緊急地震速報に関する表現を多言語に翻訳した辞書の作成 ～

近年、訪日外国人旅行者は大幅に増加しており、平成 26 年に過去最高の 1,300 万人を超えました。また、在留外国人も平成 26 年時点で約 200 万人となっています。

このような状況下において、我が国では災害発生時における外国人の安全の確保が課題となっており、各種情報の多言語化を促進しています。

特に、地震多発国である我が国には、地震を経験したことがない方も数多く来日されます。また、在留外国人の中には、日本語能力が十分でない方も含まれています。外国人の地震被害を防止・軽減するためには、地震による強い揺れを事前にお知らせする緊急地震速報の多言語化が有効です。

こうした背景を踏まえ、今般、気象庁を中心に、内閣府・観光庁と連携し、情報配信事業者等が緊急地震速報を多言語で提供する際に必要となる情報の翻訳表現を『緊急地震速報の多言語辞書』として、別添のとおり作成いたしました。

多言語辞書における翻訳言語は、訪日外国人旅行者及び在留外国人の国籍別割合を踏まえ、英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語としています。また、国籍を問わず、多くの外国人が災害時において適切な行動がとれるよう、簡易な日本語であれば理解できる外国人向けに「やさしい日本語」への翻訳表現も掲載しています。

また、緊急地震速報は外国人にとって馴染みがない情報であることから、この辞書には、緊急地震速報を受け取った際にとるべき対応行動に関する表現も掲載しています。

この辞書の作成にあたっては、外国人にとって誤解なく、分かりやすい内容となるよう、多くの関係機関に翻訳表現の確認にご協力をいただきました。

今後は、ホームページや関係諸団体を通じて多言語辞書の利用拡大に取り組み、情報配信事業者等による緊急地震速報の多言語化対応を促進し、外国人が緊急地震速報を有効活用できる環境の整備に努めます。

**【本件担当・問合せ先】**

緊急地震速報の多言語化について

気象庁 地震火山部 地震津波防災対策室 赤石、池田、吉田

(代表電話) 03-3212-8341 (内線 4662、4665)

(直通電話) 03-3211-8684

「やさしい日本語」表現について

内閣府 政策統括官(共生社会政策担当) 定住外国人施策推進室 兼定、武内

(代表電話) 03-5253-2111 (内線 38302)

(直通電話) 03-6257-1454

災害時における訪日外国人旅行者への情報提供について

観光庁 外客受入担当 西平、甲賀

(代表電話) 03-5253-8111 (内線 27905)

(直通電話) 03-5253-8972